

袋井幸浦の丘プロジェクト

2022

ニュースレター
令和5年3月発行

同笠エリアにおける環境整備の基本計画が策定されました！

これまで、袋井幸浦の丘プロジェクトワークショップにて、同笠エリアの環境整備について皆さまから沢山の意見をいただきました。それらの意見を取りまとめ、目指す将来像や取り組みの方針などを多様な主体と共有し、地域の未来を共に考え、共に創っていくための「袋井市海のにぎわい創出ビジョン」をもとに、実証イベント（海プロフェスタ）の結果などを踏まえ、直近5年間で行う整備事業を整理した「同笠エリアの環境整備に係る基本計画」を策定しました。

これまでのワークショップ

今年度は計3回のワークショップをおこない、皆さまのご意見をいただきました。

R4年 7月31日

今年度は、同笠エリアの環境整備に係る計画も、いよいよまとめの段階に入っています。これまでのプロジェクトの振り返りをしつつ、現状と今後の進め方について提示いたしました。計画について皆さまから沢山のご意見を頂きました。



R4年 10月30日

これまで検討を重ねてきた、同笠エリアの環境整備に係る基本計画（素案）について、中間報告をしました。また、静岡文化芸術大学により、展望スペースのイメージ動画や図面の説明をし、ご意見を頂きました。



R5年 1月29日

同笠エリアの環境整備に係る基本計画（素案）を報告しました。また、同エリアのシンボルマークの素案について、ご確認いただきました。今後、サイン等に活用できるようにする予定です。

また、来年度以降のすすめ方について、同エリアで開催してみたいイベントや地域活動・維持管理等について、皆様からご意見をいただきました。



海プロフェスタが開催されました(11月3日)

沿岸部ににぎわいを創出するための実証イベントとして、海プロフェスタが開催されました。防潮堤の海側法面に仮設展望台を設置し、多くの方が展望台からの眺望を楽しみました。また、現地ワークショップを行い、参加者で実際に現地を歩き、車両進入路（スロープ）や遊歩道のルートおよび幅員、海辺の駐車場のすれ違い幅などの確認を行いました。

海プロフェスタの様子



防潮堤の法面に、海を眺められるスポットを仮設的に作り、完成後に見える風景を体感いただきました。



小さなお子様をはじめ、様々な年代の方々約2500人の来場者があり、海の眺望を楽しみました。



計画案イメージ図、現地の案内サイン、シンボルマークなどについてのパネルや動画を展示しました。

基本計画の整備構想平面図について

皆さまからいただいたご意見をもとに検討しました結果、整備構想平面図は下図のような形でまとめました。防潮堤上に段床展望スペースを計画し、休憩やイベント開催の場として活用します。また、防潮堤へ車で進入できるよう、スロープや駐車場整備を行い、このエリアの利便性と活気を高めます。

* 動植物保全の観点から砂浜への乗り入れは行わない。

【参考】海のにぎわい創出プロジェクト「基本計画」より抜粋

